

1 年 組 番 氏名

班名

班長(司会・進行を行う)

班員は

グループ
テ ー マ

江風探究ユニット②

探究テーマ「新潟市の取組から課題を考え、リサーチ クエスチョンと仮説を設定しよう！」

夏季休業期間に各グループの課題について調べ、情報カードに記入してもらいました。今日はその情報をグループごとに共有し、リサーチクエスチョンと仮説を設定してもらいます。最後にまとめた内容（記録係のワークシート）を担当する先生に提出します。

ステップ1 (情報を共有する・10 分間)

夏季休業期間に調べた内容をグループごとに発表し合い、共有する。

☆メモ

リサーチエスションについて、各自で思い浮かんだものを自由に書き出す。箇条書きでも文章の形でもよい。5分間、できるだけ、手を止めない、読み返さない、消さない、誤字脱字や文法の誤りなどはいっさい気にしない、主語・述語がちぐはぐでも単語の羅列や繰り返しでも気にしない。ひたすら書く。※リサーチエスションとは、研究全体で何を明らかにしたいのかを示す「問い」のこと。

This image shows a full page of white paper with horizontal dashed lines, typical of primary school handwriting practice paper. The lines are evenly spaced and run across the entire width of the page. There are no margins, text, or other markings present.

各自のアイデアを基に、班全員でリサーチクエスチョンを何にするか協議する。

私たち 班は次のように「リサーチクエスト」を設定する！

私たち_____班は次のように「リサーチクエスト」を設定する！

【重要】チェックリスト：１すぐに答えが出てしまわないか？ ２現状を調べるだけで終わってしまわないか？ ３見通しが立ち、実行可能か？ ４検証には何が必要か？ それは準備可能か？ など

ステップ4（ブレインストーミングを行って、複数の「仮説」を作り出す・5分間）

このステップでは、班で話し合って、できるだけたくさんの「仮説」を作り出す。

新しいアイデアを出すには、「常識」を疑い、自ら論理的に考え、答えを導く力（クリティカルシンキング＝批判的思考力）が必要になる。

話し合う際のルールは次の4つである。①他の発言を（「常識」的な尺度で）批判しない、②自由に発言する、③質より量を重視する、④アイデア同士を結合する。これを**ブレインストーミング**という。

ブレインストーミングを行って、アイデアを交換し合い、複数の「仮説」を作り上げよう。できれば「仮説」の「根拠」も示そう。「仮説」とは、リサーチクエスションについて、根拠をもとに「答え」を予想したものである。

ステップ5（「仮説」を1つにしぼり、その根拠も示す・5分間）

【仮説】私たち_____班は、「リサーチクエスト」の仮説（「答え」の予想）を次のように設定する。

【根拠】

※仮説を立てる際は、それが検証可能かどうか確認しよう。どうしても検証不可能な仮説になってしまう場合は、リサーチクエストの設定に問題があることも考えられる。その際は担当者に相談してリサーチクエストを再考しよう。ステップ5では、客観的な根拠を示した上で主張を組み立てる力（論理的思考力）と、与えられた情報を鵜呑みにするのではなく、自ら論理的に考え、答えを導く力（クリティカルシンキング＝批判的思考力）が必要になる。自分たちのアイデアを客観的に分析し、説得力のある仮説および根拠を示そう。できあがったら、記録係のワークシートを担当者に提出する。

担当者 1	担当者 2